

# 百段階段でひなまつり



(表紙写真提供：大子町商工会)

大子町の町並みを一望できる高台に、古来より町民の生活を見守ってきた約1,300年の歴史を持つ「十二所神社」があります。神社に続く参道は“百段階段”と呼ばれ、近くにある小学校の子どもたちの通学路や町民の生活路として長年親しまれてきました。

毎年、桃の節句を間近に控える頃、この階段が約1,000体の美しい雛人形で鮮やかに彩られる日があります。それが「百段階段でひなまつり」です。

階段が雛人形の舞台となる日はたった1日で、この貴重な景色を一目見ようと、毎年大勢の観光客が訪れています。この雛人形は県内外から寄贈されたものであり、百段階段をはじめ十二所神社の境内にも飾られます。

また、「街なかざり」として、約3週間にわたり町内約150ヶ所の商店や事業所、個人宅などに雛人形やつるし雛などが飾られ、町に華を添えます。

「百段階段でひなまつり」の歴史は、地域の賑わいづくりを目的に、大子町商工会の女性部員が中心となって各民家に伝わる雛人形を集め、百段階段に飾ったことに始まります。2007年から毎年開催され、早春の大子町を彩る代表的なイベントに成長しました。

ひなまつり当日は、階段前で厳かな奉納神事が執り行われるほか、商工会女性部員による甘酒や湯茶などのおもてなし、さらに町内のNPOが主催する「花嫁行列」も楽しむことができます。

ご家族・ご友人とともに、さわやかな春晴れの空の下、艶やかに飾られる百段階段の雛人形を見に、大子町へ訪れてみてはいかがでしょうか。



◆場所：茨城県久慈郡大子町本町通り  
「十二所神社百段階段」

アクセス：【車】常磐道「那珂IC」から国道118号経由  
で約60分

【電車】JR水郡線「常陸大子駅」から徒歩3分

2018年の「百段階段でひなまつり」は、3月3日(土)  
9:00～15:00、「街なかざり」は、2月19日(月)～  
3月4日(日)に開催予定

※同時開催「花嫁行列」は、3月3日(土)13:30～開催予定